

かんい 簡易温度計つくり

しらべたいことがわかるような
タイトルをつけよう。

きっかけ

どうしてしらべようと思ったのか、
きっかけになったことを書こう。



温度によって、空気のふくらむ量が
ちがうことがわかった。
これを利用して温度計ができるのではないかと思い、
作ってみることにした。

実験のやり方

つけたものや、しらべるやり方
を書こう。絵やしやしんもつかう
とわかりやすいぞ。

ペットボトルに色水を入れ、ふたにあなを
あけてストローを通す。ストローとふたを
接着ざいでとめ、ふたをして、ストローの
上からスポイトで少しずつ色水を足してい
く。色水がふたの上2~3センチメートルく
らいになったら、ふたのまわりをビニール
テープでとめる。気温をはかり、ストロー
の水面の高さに印をつけ、気温と水面の
変化を記録しておく。



予想

しらべる前に、結果を予想して書く。
予想した理由も書こう。

気温が上がると、ストローの水面が上がり、気温が下がると水面が下がると思う。

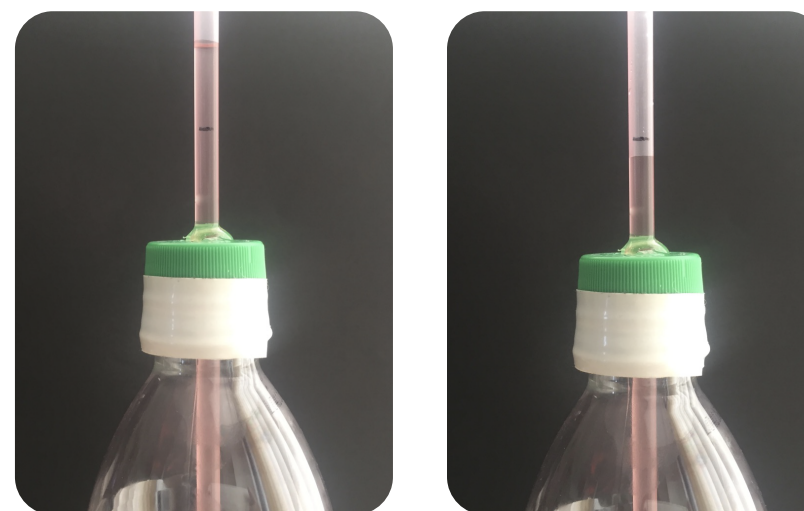
年 組 なまえ ()

なまえをわすれずに書こう。

結果

実験の結果だけを書く。
表やグラフ、しやしんをつかうとわかりやすいぞ。

温度が高いと水面が上がり、低いと下がる、かんたんな温度計ができた。



わかったこと

結果からわかったこと、
かんがえたことを書く。
予想とちがったときは、どうして
そうなったのかかんがえてみよう。

少しの温度の変化でも、空気がふくらんだりちぢんだりしていることがわかった。

まとめ

結果とわかったことをまとめて、
つぎにしらべてみたいことを書こう。

空気のかさの変化を利用して、かんたんな温度計を作ることができた。
今度は、もっと正かくに温度がわかる温度計を作れないか、チャレンジしたい。